

防災 まめ知識

その6

以前にもお知らせしましたが、浅間山の火山活動は現時点では落ち着いていますが、冬期において最も気をつけなければならぬのが「融雪型火山泥流」です。融雪型火山泥流が御代田町に被害を及ぼす可能性はかなり低いものですが、知識を身につけ、万が一に備えましょう。

【融雪型火山泥流とは】

雪が浅間山山頂付近に積もっている時期に、噴火に伴い高温の火砕流などが発生すると、雪が解け、土砂、火山灰などと一緒になって、斜面を高速で流れ下る現象で、流れる泥流の速度は時速60kmにも達します。当町においては、15分から30分で居住地に達するものとシミュレーションで示されています。

【火砕流とは】

火口から噴出した高温の岩塊、火山灰、軽石などが高温のガスと混合し、それらが一体となって地表を流走する現象です。溶岩流とは異なります。

【融雪型火山泥流と火砕流の範囲の違いは】

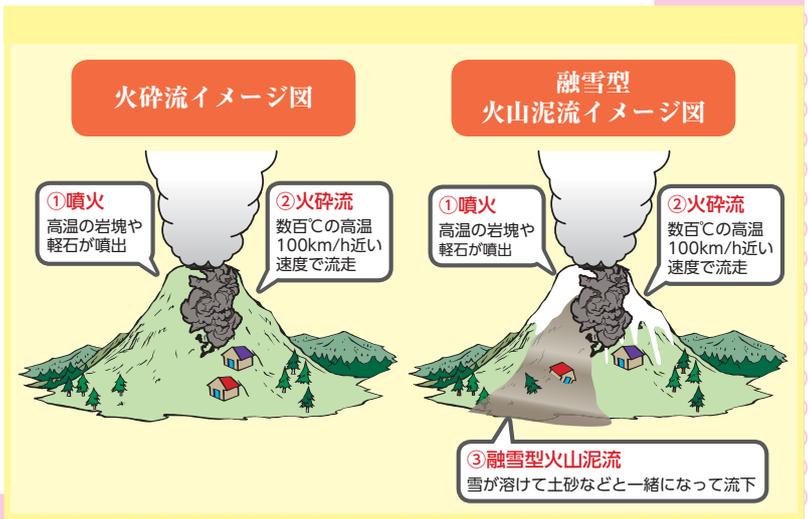
融雪型火山泥流と火砕流の範囲は異なります。例えば中規模噴火が発生した場合、火砕流は全て、火口から4km以内の範囲に収まります(居住地には影響ありません)。しかし、融雪型火山泥流は、火砕流が雪を解かし、居住地まで泥流として流れ下りますので、影響する範囲は異なることとなります。

【融雪型火山泥流の避難に関する心得】

- ・ 沢筋や低地など、危険度が高い地域では、早めに避難をする(自らの判断に基づく自主避難をする)。
- ・ 危険箇所を通らず、泥流の流れに直角に、近くの高台など、高所に避難をする。
- ・ 近くに高所が無い場合は、泥流の力に耐え得る丈夫な建物に避難をする。
- ・ 屋外に泥流が到達している場合、または、すぐそばまで迫っている場合には、屋外には出ず、建物の2階以上に避難をする。

【住民の皆さまへ】

実際に災害が発生した場合、町からの情報提供が間に合わない可能性がります。このような中、町では東日本大震災での津波被害や原発被害を受け、可能性のある災害については、あらかじめ住民の皆さまに情報を提供し、正しい知識を身に付けていただくことで、いざ災害が発生した際に、住民の皆さま自らが適切な対応を取っていただくことが大切だと考えています。町ホームページにて、火山



防災マップや融雪型火山泥流マップを掲載していますので、ご覧ください。

【防災行政無線の放送内容を確認するには】

町防災行政無線の放送内容は、(32)1180にお電話していただくと、直近の内容を確認することができますので、ご利用ください。また、防災行政無線を補完する「みよたメール配信サービス」もご利用ください。詳細につきましては、広報やまゆり10月号のページをご覧ください。

問い合わせ先 総務課防災係(内線29)

リフォームをお考えの皆さまへ
補助金の受付が始まりました
2年前から始まりましたリフォームの補助金が今年も10月10日から始まりました。最大20万円も補助されます。いろいろな商品が値上がりする中、助かりますね。

そこで大井建設ではリフォームの適切なアドバイスをする相談窓口を開設しています。
こんな事聞いていいのかな？
こんな事出来るかな？
いくらかかるかな？
そうお思ひならば、一度ご相談ください。もちろん、他社でリフォームされる方でも結構です。1級建築士、耐震診断士が皆さまの悩みを解決します。



今年のやまゆり11月号より

この機会をご利用ください。ご連絡をお待ちしています。

大井建設工業(株) 代表取締役社長 **大井康史**
追伸 なお今回の補助金は1千万円(ほぼ)50人分です。なくなり次第終了となります。お早めに「検討ください」ね。

リフォームをお考えの方は
こちらまでお気軽にどうぞ。

お問合わせは今すぐ **0120-33-4152**
大井建設ホームページアドレス
www.kensetsu-ooi.com

メールの方は thanks@ooi-kensetsu.co.jp
FAXの方は 0267-32-2935

WEBで検索! 大井建設 子育て 検索

大井建設工業株式会社
子育て世代の安くていい家 専門店 株式会社
御代田町馬瀬口1670-74 TEL0267-32-3333(代)
CISO 9001 認証取得

(広告欄)